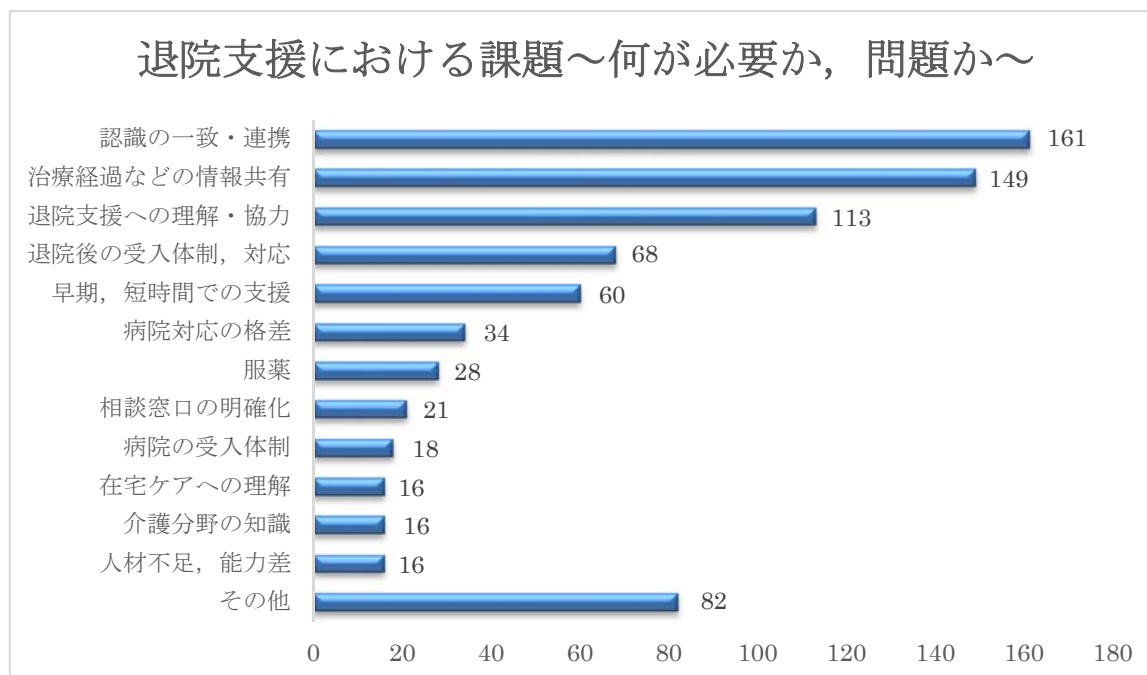


グループワーク①「専門職としての退院支援について」

(意見総数 782 件)



○おもな意見

区分	内容
認識の一致・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護の違いを理解して，相手の立場に立った連携が必要 ・病状について家族の理解が不十分
治療経過などの情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の背景がわかる情報が欲しい ・医療，介護，在宅，共通の情報ツールで情報共有したい
退院支援への理解・協力	<ul style="list-style-type: none"> ・家族への説明が足りず，理解できていないことが多い ・退院時のカンファレンスについて，依頼がないと行わない病院がある
退院後の受入体制，対応	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の緊急時の相談先が決まらない ・入院時から，退院後の生活を意識する必要がある
早期，短時間での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・退院が突然決まり，十分な対応ができない ・カンファレンスの時間が少ししかとれない
病院対応の格差	<ul style="list-style-type: none"> ・病院によって，情報提供の仕方や量に差がある
服薬	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時の残薬確認が必要，退院後すぐに薬がなくなって困った
相談窓口の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の窓口がわからない
病院の受入体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの空き状況，在院日数などの都合で退院となってしまう
在宅ケアへの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅ケアがあまり理解されていない
介護分野の知識	<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定等の知識が不足している
人材不足，能力差	<ul style="list-style-type: none"> ・退院支援者の力量差が大きい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の状態が退院前と後で変動する ・専門用語が難しい ・家族がいない人への対応